

さくらだより

広報

9月号 No.73

平成30年8月発行

さくらだより読者の皆様こんにちは、今回編集長を務めます長谷川です。100回記念ということで松井秀樹さんのレジェンド始球式など、話題が豊富な全国高校野球選手権（甲子園）大会は大阪桐蔭高校が優勝。史上初2度目の春夏連覇達成で幕をとじました。敗れはしましたが、最後まで全力で戦った金足農業ナインの姿は本当に格好良かったですね。皆さんが応援した学校はどうでしたか。編集長の故郷山口県の代表校、下関国際高校は惜しくも4回戦で敗退しましたがBest8と大奮闘でした。3年間「同じ釜の飯を食った」仲間との最高のチームワークをこれからも大切にしてほしいなあとと思います。チームワークといえば今年の桜運輸のテーマは「社員一丸」。社員みんなが楽しめるBBQ大会を行いました。



BBQ 大会開催 🍴

お〜い。幹事い〜。
早くはじめよう〜！



右って声信じていいんだよね？
「ウソはダメ」って大人は怒るよね？
僕、大人の言うこと信じるからね!!
責任とってよ〜♪



空気読んでプール来ましたけど、合ってますよね？ 笑いとれてます？よね？

Yeahhhhhh!!! BINGO!!!
おっきいほうがいいなあ！



会長手作りのオイル
缶 BBQ コンロです
が、何か？



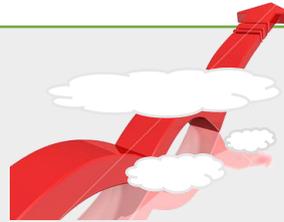
飲酒運転は幹事の僕ら
が許しませんからね！



ビンゴの景品ホッチキスの針3年分だった〜 誰か要りませんか〜？(笑)

8月26日（日）に若手乗務員の呼びかけで社内 BBQ 大会を行いました。今回の BBQ 大会はビンゴゲームやスイカ割り、ビニールプールの設置などイベントが盛り沢山。事前準備や当日の段取りに走り回った幹事には本当に頭が下がります。幹事！最高に楽しい夏の思い出を有難う！来年もヨロシク！

ホップ(大型免許取得) ステップ(牽引免許取得) ジャンプ(横乗り終了)独り立ちしました。



何処まで飛んでいくんですか？



運転のセンスはあるけどバックに関しては日々の修行だと思って下さい！一日も早く思い通りに操れる様になることを楽しみにしています。優しい先輩が面倒見てくれるのでまずは安全第一で頑張り！指導員：竹内より



今年初めに入社しました加藤です。トレーラーに乗務したくて桜運輸の門を叩きましたが、中型免許しかもっていなかったため4トりに乗務しながら自動車学校に通いました。7月に大型、牽引免許を取得しました。横乗り期間中に上司から指導して頂いたことを守り、これから念願だったトレーラー乗務員として一生懸命、頑張っていきますのでよろしくお願い致します。 ひひひひひ♪

管理者講習

勉強する良い機会。学んだことを配車業務や管理業務に活かしてください。実践しないと面打ちだぞ〜。(〜*)
あと、レポートは2枚以上提出ね！



この講習会に参加させていただいて健康管理の重要性！特に高血圧が如何に良くないかを学びました。運転中に発症すると大事故に直結する脳血管疾患や心血管疾患の原因は高血圧が一番で、その改善方法は生活習慣を見直すことだそうです。煙草に飲酒、塩分摂取過多、さらに運動不足の編集長。「生活習慣を見直そう！」との思いとは裏腹に休憩時間に煙草を吸ってる自分がいました((+_+))。そして私が一番参考になったと感じたのは、グループでの事故分析の手法です。10人グループで、ある事故事例を参考に点呼、運転日報、運行記録計から健康診断結果や、適性診断結果まで、様々な問題点や不備を探しだし何故そうなったのかを分析し、個々に対策を考える。3時間近くに及ぶそのワークで様々な事故に直結する原因が存在していることが明らかに。ひょっとしたら私たち管理者が要因の事故も過去に起こっていたかもしれないとドキッとさせられました。9月から配車業務に携わる編集長ですが、この講習で学んだ事を最大限に活かさなければと気が引き締められました。(編集長)



今回2日間の講習会に参加させて頂いて思ったことは、事故分析の進め方です。桜運輸では、事故を起こした乗務員が事故の状況や原因、事故防止対策を考え、その後、配車担当者が乗務員の体調や睡眠時間などのヒヤリングを行い事故報告書を作成しています。今回の講習では、運行管理上から問題点はなかったかなど様々な角度や視点から事故を分析するという進め方を教わりました。が、まずは、「事故を起こさせない、怪我をさせない」と強い意志と信念で、活発にコミュニケーションを取りイライラさせることのない職場環境と安全文化を構築していきたいと思いました。(後藤)



編集長の独り言

「お目通しお願いします」と社長に差し出した「さくらだより」。表面を読み終わり裏面を読み始めると段々と顔つきに変化が・・・

その表情に空飛ぶ雲の筋斗雲で逃げ出したくなった編集長。読み終わり「何が伝えたいの?」「意味が分からん」「適当に作った?」拳句「本読んでる?」とダメ出しを食らい意気消沈。適当という言葉に多少ドキッとしたものの何とかOKが出ないかなあと期待をした編集長はやっぱり甘かった。(；▽；) 編集長の心を読まれているのか「部長はいつも詰めが甘いんだわ〜」と。でも「やればできるんだから」とおだてられニコニコ顔で新たな「さくらだより」を作成している編集長は、まんまと社長の術中に。三蔵法師と孫悟空のように?いつまでたっても手の平から抜け出せない編集長でした。((+_+))
次回の「さくらだより」編集長は初登場!あのお方が努めます。乞うご期待!(^_^)☆